



CBC NEWS

—中央聖書神学校—

2016年5月号

神学校に入学する時の学生の心は、人それぞれだと思っています。皆、複雑な心境を持っているのではないのでしょうか。喜びや不安、感謝と共に「よし力を尽くして頑張ろう、こんな私で出来るのだろうか。でも、主がこのような私を全てご承知で召して下さった」と召命の確かさを一番に、入学が許され、神学生時代が始まっています。

神学生時代は伝道師、牧師となるのに必要な知識の学びや実践的の訓練がありますが、もう一つ自分が神学生であるという自覚をする訓練があります。行動と言葉に伴う責任の重さや影響、憧れや妬み、時には何でもできる、何でも知っている、何でも分かっていると思われる中に自分を置かなければなりません。一方、神学生になったとしても心が伴わないことや他の神学生と比較して劣等感を持ったり、人格の成長に焦りを感じたりすることもあります。通信科の学生は仕事上の失敗や世の罪と誘惑に遭い、家族内ではとても人に言えない嵐が吹くこと

「神学生時代」

港南シオンキリスト教会 牧師

野川 悦子

魚吹
Vol.51



もあるかも知れません。実生活の問題に板挟みになることもあるでしょう。そんな時、「こんな自分ではないのか。こんな自分に主の働きが出来るのか。こんな自分が主の教会を導く者になれるのか」という思いと向き合っていく、これが神学生の訓練です。

神学生時代には、愛のない自分の心、自我の強い傲慢な心に気付かれます。また、時には喧嘩をしたり、恥をかくこともあったり、悔しい思いや情けない経験をすることもあります。それでもいつも主の元に膝づき、召して下さった主を仰ぎ、伝えるべき十字架の赦しと救いが誰よりも、この「私」の為だったことを再確認させられるのです。そして、聖霊の力によらずには自分を変えることが出来ないことを悟るのです。たとえ罪を犯す可能性があっても聖霊によって古い自分に打ち勝つ経験を重ねることが大切なのです。それは福音を伝える者として世に遣わされていくためです。

どうぞ、神学生が神学校で学ぶ期間に深く自分を見つめ、深く神様と関わりを持つ者となりますようにお祈り下さい。

最後に、これを読まれているあなた自身が、神様の召しを自分で否定していないか祈って下さい。主は、知識や優秀さではなく、主を信じ、主に期待する者を求めています。



静 心

三年 土屋 真愛

人は人を意識しながら生きる。これは社会において避けられないことである。しかし、多くの人は「他人との比較」の中で間違った価値観で苦しむ傾向にある。

2年間の神学校生活の中で、私自身、周り比べて、自分に与えられているものより、足りないものばかりを見て悩んだ時期があった。とても長く苦しい時期だった。しかし、神様は何度も何度も御言葉や祈り、そして聖霊を通して真理を教えてくれた。神様は能力や賜物によってではなく、その愛と憐れみによって、私を愛し選んでくださった。

「他人の手の中にあるもの」ではなく、「私の手の中にあるもの」で神様は私を用いてくださるのだ。神様はそれを以てご自分に仕えることを喜ばれる。そして、キリストのからだを建て上げるために、神様の御計画に従って私たちに賜物や召しを与えられる。いつもこの神様の視点を持って歩み、仕えていく者でありたいと思う。

春期・夏期講師紹介

教師	科目
荻野 倫夫	神学通論、ギリシャ語1
北野 耕一	社会のしくみと人間関係
小石 臨	組織神学2
小泉 智	新約通論、ヨハネの福音書、共観福音書
白石 信之	組織神学1
北野 ジョイス	Oral English
鈴木 正和	教会史2
高橋 恵子	英書講読1
野川 悦子	個人伝道法
能城 一郎	オリエンテーション
長谷川 忠幸	出エジプト記、リサーチ・論文、エゼキエル書
平松 契	コロサイ書
細井 眞	AG規則
三上 かをり	教会音楽通論
三宅 規之	説教学1、ペンテコステ・ミニストリー
安田 眞	旧約通論
和田 佳士	教会形成論、伝道実践

ーカリキュラム変更についてー

2016年度から新カリキュラムに移行しました。特徴としては、授業が60分授業から90分に変更された点とブロック授業が7回行われる点、伝道週間が4回加わった点が挙げられます。伝道週間では、伝道実習で学んだことを実際に行うことにより、伝道スキルを身に付けることが目的です。今までにない実践的な学びをする機会が増えました。

献金による支えを心より感謝申し上げます

【ダビデの石奨学金献金】
【関東北東】中央福音教会【関東南西】武蔵野キリスト教会【関西】尾崎基督教会【四国】高知聖書教会 中村福音キリスト教会【九州】佐伯聖書キリスト教会【個人】野出テルヨ、田村伸治
一般献金
【団体】天塚基督教会、岡山神召キリスト教会、嘉手納アッセンブリー教会、熊本聖書教会、境港キリスト教会、志村キリスト教会、関城基督教会、高槻キリスト教会、中央聖書教会、函館バベルキリスト伝道所、広島紙愛キリスト教会
【個人】小田島幹彦、北野耕一、桜井剛・理恵子、サラ、ブラックストーン、長谷川光代、藤本かおり、三宅規之

編集後記

新入生がメンバーに加えられ、感謝します。年に2回のCBCNEWSの発行となっておりますが、ブログの「たかどの」や「Facebook」では神学生の様子がタイムリーに広報されております。ぜひご覧ください。日頃から祈り、支えて下さっている方々の応援、神様の支えによってこのCBCNEWSも発行されています。新しいメンバーも共々これからも一年間頑張ってもらいますので、引き続き応援宜しくお願いします。

比嘉 真奈美

訂正

2015年10月号 4ページ 神学生夏期派遣教会

田辺良実 上越ピープルズチャーチ伝道所→命のパンチャーチ (新潟)

クリックお願いします。

CBC たかどの

検索

CBCNEWS

—2016年5月号—

広報部

比嘉 真奈美 田辺 良実
孟 一博 上本 亮
林 賛美 中山 満
須田 デイビット ススム

編集責任者：安田眞師
事務局：中央聖書神学校

二〇一六年度新入生紹介 本科生



陳 智美

アッセンブリーオブゴッドハーランド

パークメモリアルチャーチ

自分に聞きます。やっと日本に宣教する夢の入り口に来ることができました。香港人の私が日本人の献身者と一緒に日本的な学びを受けることができて、神様に深く感謝しています。もちろん、香港母教会の牧師と兄弟姉妹とCBCのみなさんにも感謝しています。日本での学びは私にとって、言葉だけではなく、私自身が日本文化を理解することです。日本人と同じように伝道者として神の召しに従って行けるように努力していきます。とても難しいことですが、イエス様と共にぼちぼちで全ての壁を乗り越えたいと思います。よろしく願います！



中山 満

岩見沢神召キリスト教会

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」(一テサロニケ五章十六節) 献身までの道のりは決して楽なものではなく、



鳥居 史臣

オープンバイブル教団 町田聖書教会

感謝します。将来、牧師になりたいと思ひ献身をし、この所まで来るのに大変な道のりを歩んできましたが、これも全て神様の計画の中だったのだと思うと感謝せずにはいられません。主は永久に変わらなく良い方です。これからの勉強や奉仕が大変だったり、また他にも色々たくさんと考へなければならぬことがあったり、自分の十字架を背負っていかなくてはならないですが、この全てを主に委ねて祈り生活していきたいと思っています。

ご卒業おめでとうございます

第66期生の卒業式が、3月1日(火)夜7時半より神学校チャペルにて行われました。本科生2名、通信科生4名(内教会献身者コース1名)が神学校での学びを終え、卒業しました。

卒業生の皆様が、それぞれ遣わされた地で、主の尊い器として大いに用いられますように、心からお祈りしております。(2年 孟)

堀川真理子姉

(広島基督教会)

多くの方々の祈りに支えられ、4年間の通信科の学びを終え、今春卒業を迎えました。講師の先生方の熱のこもったインターネット授業を、毎日楽しく学ぶ喜びに溢れて視聴しました。スクーリングでは、通信科、本科の学生と共に礼拝を捧げる幸いを得、また、日曜派遣では、様々な奉仕を経験しました。最後に、通信科の先生方、暖かいサポート、本当にありがとうございました。学びを最大限に活かし、賜物を用いて「道であり、真理であり、いのちである(ヨハネ14:6)」お方を証していきたいと思っています。

中村陽子師

(下関シオン教会)

主の御名を賛美します。下関シオン教会に着任し、日々の中で主の恵みを感じています。神学校生活では、決められたスケジュールで一日が過ぎていましたが、これからは自分で時間を管理し、主の働きをしていく生活です。与えられているものを活かせるように祈りつつ、信徒の皆さんと共に主に仕えていきたいと思っています。

牧唯恵師

(草加神召キリスト教会)

神学校生活の4年間を短く表現するならば「多くの方の祈りと支え」です。神学校の先生方をはじめ、私を快く送り出して下さった母教会の先生、教会の方々、家族…本当にたくさんの方のお力を借りての学びの時は、振り返ると、恵み以外の何ものでもありません。今後は皆さんに育てて頂きながら、信仰、人格の成熟に努め、仕える者になりたいです。

濱崎恵太師

(明石キリスト教会)

神学校での生活は、濃縮された期間であったと言えることができるかと思います。楽しいことも苦しいことも色々あった期間でした。でも、振り返ってみると、本当に主が良くしてくださったことばかりでした。これからは、不安がないと言ったら、正直嘘になります。一足一足主と共に進んでいきたいと思っています。主に期待しつつ。

杉浦勉師

(大和リバイバルチャーチ)

主の御名を賛美します。3月1日にCBC通信科を卒業後、4月3日(日)就任式をして頂きました。就任後は、主任牧師・副牧師夫妻と心合わせて祈り、共に教会の働きをしております。高齢者の方々にも伝道したいという強い願いがあります。主の栄光が現されますようお祈りください。栄光在主。

通信科生 伝道者コース



須田 デイビット

ススム

名古屋神召キリスト教会

私は、平成二十八年四月四日に中央聖書神学校に入学でき感謝です。この日から私の人生は大きく変わりました。寮生活、勉強と新しいことばかりですが、神様から与えられたこのチャンスを無駄にしないよう一生懸命頑張りたいです。もともと神様のことを知り、聖書についての知識が高められることに感謝して心が喜びに溢れています。両親や先生方の祈りがあったから僕はここにいます。



斉藤 由美子

郡山キリスト教会

CBCに入学し、実際に訓練の場に出られることに大きな喜びを感じています。またそれ以上に、神様がここまで私を決して離さず、この時まで支えてくださったことに感謝が尽きません。自分が救われて、CBCに入学できたこと自体、何て大きな奇跡なのでしょう！と主の御業に感動しました。主に従うことの本当の意味を体験し、どんな時でも「はい、主よ。」と言える信仰を、神様がこの学生生活を通して教えてくださるようにと願っています。何卒よろしくお願いいたします。



須藤 望

シティビジョン・グローリーチャーチ

イエス様の豊かな恵みと忍耐によって、また多くの方々の祈りと支えによって、入学することができ、心から感謝します。この学びの季節も主に聞き従い、主の御用に足る者へと変えられていくよう、日々、主の恵みの前に通って歩み続けたいと思います。お祈りに覚えていただけましたら幸いです。主に感謝し期待し、すべての栄光を主に返しします。



寺田 有里

南紀キリスト教会

「神を愛する人々、すなわち神のご計画に従って召された人々ためには神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」(ローマ八章二十八節) 神様の計画は、私が考えるタイミングや方法よりも素晴らしいものでした。神様が召してくださる、全てを益としてくださることを信じ感謝いたします。これからの学びの中で、神様の一方的な恵みで救われたことを感謝し、その恵みを人々に伝える者として成長していきたいです。



松尾 敬文 蒲江キリスト教会

四月から中央聖書神学校で学ぶ者となして下さった神様に感謝します。私は今六十四歳です。多分、今年の新生の中では一番年上ではないかと思いますが、小さい文字が見えづらく、パソコン操作も苦手なため一抹の不安を感じながらの入学ですが、主が開いて下さった道であると信じ、聖書の真理を知り、またそれを正しく伝えるためには必要なことと毎日取り組んでいます。



余 小佳 東京陽光基督教会

二〇〇九年同じ故郷出身で神学生になった先輩から伝道を受けた後、自らキリストに向かつて歩み始めました。それからおよそ七年の時間が経ち、一人で異国生活を経験し、旅の喜びも悲しみもよく体得しました。今年の四月、自分も神学生として入学を決めました。神なんか絶対存在しないという国背景を持つ私にとっては、まさに想像さえしなかった人生が始まりました。如何にも神様の不思議な御業でしょう。新しい人生のため、主に感謝します！



吉武 胡敏 東京陽光基督教会

入学試験の出来は本当に良くなかったと思うのですが神様に憐れんでいただき、入学することができました。神様に感謝と共に「みなさんについていけない？」との心配もありましたが、神様がきつとなんとかしてくださると信じます。一層神様に祈って、頑張っていきたいと思います。



吉武 惟一 東京陽光基督教会

「え！？終わり？」と口をついて出た程、あつけないもなかっただけの合格発表。時間にして数秒間。今後の人生を大きく変える瞬間であった。受け取った合格通知書は、これまでに積み重ねられた祈り、示されたしるし、そして行動に付された決心と決意が詰まっているように見え、ずしりと重かった。自分の人生のみならず、人の人生をも変えてゆく仕事に、生涯を投じます。



富安 雄人 日本チャーチ・オブ・ゴッド教団 瀬谷キリスト教会

この度、中央聖書神学校通信科への入学が主によってベストなタイミングで開かれたと信じます。今年は多くの仲間恵まれ、共に学ぶ友がいるというのを感じ、日々励まされています。また、通信科ならではの、私は社会で働いているため神学生として職場においても影響を与える存在として人々に仕えることを学んでいます。全ての生活を通して神学を学び、主に喜んで仕える働き人として祈り励んでいきたいと思っています。

通信科生 教会献身者コース



奥田 和枝 ファーストアッセンブリー・オブ・ゴッド ハワイ

ハレルヤ！主の御名を賛美します！私はハワイに住む五十代の女性です。十五年前に離婚し、教会に通い始め、イエス様に出会いました。「苦しみにあつた事は、わたしに良い事です。これによってわたしはあなたのおきてを学ぶことができました。」（詩篇一九篇七一節）去年、二十年以上勤めた会社を辞め、この年になって中央聖書神学校通信科へ入学出来た事を感謝します。不可能を可能に変えて下さる主に信頼して大胆に飛躍したいと願っています。



京野 雅子 アッセンブリー新潟キリスト教会

私は一つのことを主に願った。私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。（詩篇二七篇四節）この道を開き、与えてくださった神様と所属教会の愛する兄弟姉妹のみなさまに感謝しています。初心を忘れず頑張ります。



澤野 貴子 小岩栄光キリスト教会

入学式の会堂に祈りが燃え上がった時、新しい異言も与えられました。主からのプレゼント、感謝します。「教えてください、わたしの恋慕う人あなたはどこで群れを飼ひ真昼には、どこで群れを憩わせるのでしょうか。どこかわからないのなら群れの足跡をたどって羊飼いの小屋に行き、そこであなたの子山羊に草をはませていただきます。」（雅歌一章七節八節）



中山 妙子 氷見キリスト教会

私は日本音楽の作詞・作曲を本業にし、国内外で音楽活動とNPO活動をしています。環・日本海民族音楽研究チームづくり、西洋音楽が日本音楽に与えてきた影響を調査し五年目になり、今年こそまとめ出版の努力中。さらに賛美歌の作曲をめざし、聖書を深く勉強します。パソコン操作が苦手で、入学式から毎日、孤軍奮闘中です。皆さん、どうか助けてください。主に祈ります。



羅 華 東京陽光基督教会

フルタイムで神学校で勉強する本科生と一緒に入学式に参加した時、自分も神学生になったと感動して、喜びました。これから人生の全てを神様にゆだね、神様をもっと知り、福音と愛の伝えと説教などを中心に生活を送る優秀な神学生たちとクラスメートになることを感謝します。彼らがいて自分もそのような学生になる望みと自信が持てるでしょう。神様の導きに従って神学校に入れることを感謝します。



吉岡 敬蔵 ファーストアッセンブリー・オブ・ゴッド ハワイ

現在金石AG支援センターで、被災者の支援と教会開拓を行っています。CBCでの学びを通じて、被災地で傷つき、希望を失った魂に、さらに力強くイエス様の救いと希望を伝えられるようになりたいと願っています。これからどうぞ宜しくお願い致します。



武田 雅代 藤沢オリブチャペル

主の御名を賛美します。この学びを通して、主と聖書の奥深さを知ることができることを、また、教会にどのように仕えるように導かれるのか、楽しみにしています。子どもたちがいるので、通うことや寮に入ることではできないので、通信科で学んでうれしく思っています。子どもたちを寝かしつけてから、のんびり勉強しようと思っています。よろしく願います。



緒 秋霞 東京陽光基督教会

主に感謝します。神様に仕えたいと思って、二年前に神学校に入学したかったのですが、なかなか決心できませんでした。神学校に入学しましたが言葉の問題があるので、日本語の神学校は非常に難しいと思いましたが、始めてから思ったより難しくないと感じました。特に、通信科なので、分からない時いつでも止めて調べたり、何回も繰り返しすることが出来ます。これから三年間、知識だけではなく、生活も神学できるように頑張ります。



中尾 みちる 南紀キリスト教会

家族、母教会のみなさんのお祈り、応援、協力があるから学べるのが嬉しく、楽しみに思え頑張ることができそうです。私の願いを越えて、そのような状況を与えてくれたことに神様の愛と、自分達に与えられている計画を感じます。生きているみんなに福音を知らせたいと願うクリスチャンの一人としてこれから学び、用いられたいです。



中尾 義也 南紀キリスト教会

今回、CBC通信科に入学できたことをとても感謝しています。二年前に祈りの中で受け取ったことがあります。それは、神様の為に自分の人生をつきたい。牧師として神様の働きをしたいというビジョンでした。そのために、CBCに入学してたくさん学ぶことを考えていました。そして、ずっと願っていた入学ができて、とてもうれしいです。神様のために、またビジョンのためにしっかり学びを進めていきたいと思っています。

四月四日に行われた二〇一六年度中央聖書神学校入学式で本科生四名、通信科伝道者コース八名、教会献身者コース十名の計二十二名の献身者が起こされ入学されたことを感謝します。新入生のこれからの歩みのために、また合わせて在校生も覚えてお祈りしていただけると幸いです。

中国教区キャラバン

中国キャラバンを通して

三年 佐島 諒

三月五日〜四日までの十日間、二〇一五年度中央聖書神学校キャラバン隊は中国地方を巡回しました。隊を何チームかに分割し、中国地方にあるJAG教会の全てに伺わせていただきました。

私たちはこの中国キャラバンを通して、各々が沢山の事を学び、様々な訓練を得ることができました。その中で、地方を巡回したキャラバン隊員全員が口を揃えて言っていた事が二つあります。

その一つは、「都会伝道と地方伝道の違い」です。神学生は様々なところから中央聖書神学校がある東京へと献身してきます。東京で過ごすにつれ、皆が大都市での生活や奉仕に馴染んでおりまして。しかし、中国地方を訪れ、実際にそこで生活すると、都市部との違いが見えてきます。

まず、トラクト配布をするにしても、人が道を歩いていない事。また、人から教会の敷居が高いように思われること。私たちは、如何にして教会に人を集めるかということに着目しながら、各々の教会に滞在する中で考えを巡らせました。もう一つは、「地方教会の実際」です。キャラバンを通して、牧師がいない教会

所謂、無牧の教会に訪問する機会をいただきました。主管者の先生から地方教会の現状を聞き、教会を実際に訪問してみて、本当に考えさせられました。一つの教会を牧会するだけでも大変であるのに、二つ以上の教会を如何にして牧会していくのだろうかと思案しました。自分たちの牧会に対する認識が甘かったことを痛感した私たちは、打開策も得ることができました。それは、「愛」です。

お互いに遠く離れた場所でも牧会している中国教区の先生方が、折り合い、キリストの愛で結ばれている姿を拝見し、これこそが地方を明るく包む、真の光になるのだらうと確信しました。

これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。(コロサイ三章一四節)

現在、私たちは主から受けた愛を人々に流していく器へと更に変えられる必要性を感じております。残された神学校生活において、御霊なる主が働いてくださり、私たちをつくり変えてくださいますように。

たくさんさんの学びと訓練を得させてくださった中国教区の先生方に感謝し、祈り支えてくださった方を思い、心からお祈りしております。



松江ゴスペルチャーチ



とっとりビーチ・チャーチ



境港キリスト教会



竹原ベテルキリスト教会



宇部神召キリスト教会



岡山神召基督教会



三月五日神学校を出発。境港キリスト教会に到着、六日境港キリスト教会、松江ゴスペルチャーチに分かれて礼拝参加。七日境港キリスト教会にてゴスペルに参加。八日境港キリスト教会にて作業。九日とっとりビーチ・チャーチへ訪問、清掃。十日広島基督教会にて観光、セル参加。十一日竹原ベテルキリスト教会、広島神愛キリスト教会、せとうちキリスト教会、各教会に分かれて奉仕。十三日福山基督教会、宇部神召キリスト教会、岡山神召基督教会の礼拝へ参加。十四日中国教区教会にて挨拶。神学校到着。

ありがとうございました

通信科生の声

通信科生としての学び

通信科 浦野 慶子

私にとって、通信科のスタートは試練から始まりました。というのも、入学式に仕事の休みが取れず出られなかったからです。「祝福を受けられなかった」という思いは、北野先生のオリエンテーションを視聴させていただき、吹き飛びました。感動し、「こんな私でも神様に用いられたい」と熱くなりました。それからというもの、私は学びが楽しくて仕方ありませんでした。今まで知らなかった聖書の深い意味を一つ一つ学び、発見していくことは喜びでした。人にはそれぞれ時がありますが、もっと早く若い時から聖書の学びの面白さに気づけばよかったと思います。

その学びを実践的なものにしてくれたのがスクーリングでした。パソコン画面からの学びだけでは得られないものをその一週間で体験することができました。同じ志を持つ兄弟姉妹との出会い、普段パソコンの画面でしか見られない先生方との出会いは大変刺激になりました。また、通信科担当の教務の先生方が親身になって、学びの支援や相談にのってくれたり、自分自身の小ささ、弱さに気づかされ、悔い改め、砕かれました。そして、毎朝のチャペルでの賛美、メッセージ、祈りの恵み、スクー



リングの最後の折り合い：私にとって、本当に天国にいるようでした。さらに、もう一つの忘れられない恵みがイスラエル旅行でした。イエスが二〇〇〇年前に生きたエルサレムの地を歩み、イエスが見たであろうガリラヤ湖、オリブ山、荒れ野を自分も見ることができたのは感慨深いものでした。

そのような素晴らしい体験や学びの間も残り一年となつてしまっていました。その割には、成長していない自分がいるようでせつかくの学びを今後どのくらい生かしているのか、これからが本番なのだとつくづく思われます。学びの中で特に心に残ったのは北野先生の講義で教わったライオンホール・ニーバーさんの次の言葉です。

「神よ、変えられないものを受け容れる心の静けさと変えられるものを変える勇氣と両者を見分ける英知をお与え下さい。」たとえ周囲が変わらなくても、自分が変わることで、自分が変わらなければ何も起こらないことを絶えず心に留め、変わり続けていきたい、主に期待し続けていきたいと祈る毎日です。

イスラエル研修

二〇一六年一月七日〜一三日、イスラエル研修が行われました。皆様の尊い献金によって今回のイスラエル研修が実現しました。参加者は本科生八名、通信科生三名、教職十名の計二十一名で



聖書の世界を体験することが出来ました。ツアーガイドは安田眞師がしてくださいました。

短い期間でしたが、北はピリポカイサリヤから南はマサダまで回ることができ、さらに死海では浮遊体験をすることも出来ました。ガリラヤ湖畔では、主イエスが歩まれた地を私たちも歩き、聖書のみことばを思い起こしながら見る事が出来ました。アルベル山から一望したガリラヤ湖は、壮大な光景でした。また、草木もほとんど生えていない荒野があつたと思えば、ガリラヤ湖周辺のように緑豊かな肥沃な土地に出会い、聖書の世界の幅広さを実感しました。狭い地域の中で様々な光景が折り混じったような不思議な地でした。聖書を読むだけではわからない、イスラエルの空気を肌で感じることで、聖書の世界のイメージがさらに鮮明になりました。「百聞は一見に如かず」とは、まさにこのことなのだと思感した旅でした。この研修で得たことで聖書の読み方が変わり、新たな思いで学びに励んで行きたいと思えます。

(三年 田辺)



11月23日(水・祝日)

場所：中央聖書神学校

去年に引き続きCBCフェスタを開催いたします。去年は大勢の方が来られて大盛況で、感謝な1日でした!!ぜひ、今年も楽しんでいただけると嬉しいです。神学校のことをもっと知りたい!と思う方も、オープンキャンパスを兼ねて行きますので、お待ちしています。

※詳細は後日ご案内いたします。